

2.18 署名・請願提出 院内集会

38人の国会議員(および関係者)に、国向け署名に託した思いを伝える

特別国会衆議院で首相指名が行われようとする2月18日、東京永田町の参議院議員会館101会議室において、2025年度の高校授業料無償化実現と私学経常費助成の拡充を求める、国向け署名・国向け請願の提出院内集荷いが開催されました。北は岩手県から南は熊本県まで19都府県103人の父母(56)・教職員(43)・高校生(4)が参加し、会場を埋め尽くし、参加国会議員のあいさつに注目しました。

本人19人、代理19人、計38人の国会議員が参加!

本人出席議員のみなさん				代理出席議員のみなさん				
お名前	選出	院	会	No	お名前	選出	院	会
原田大二郎議員	比例	参	公	1	磯崎仁彦議員	香川	参	自
福島みずほ議員	比例	参	社	2	福士珠美	青森	参	立
堂込麻紀子議員	茨城	参	国	3	田村智子議員	比例東京	衆	共
柴山昌彦議員	埼玉	衆	自	4	仁比聡平議員	比例	参	共
芳賀道也議員	山形	参	国	5	原田秀一議員	香川	参	国
古賀之士議員	福岡	参	立	6	牧山ひろえ議員	神奈川	参	立
島田智明議員	比例近畿	衆	自	7	古川康議員	佐賀	衆	自
ラサール石井議員	比例	参	社	8	塩川鉄也議員	比例北関東	衆	共
木村次郎議員	青森	衆	自	9	辰巳孝太郎議員	比例近畿	衆	共
畑野君枝議員	比例南関東	衆	共	10	山口晋議員	埼玉	参	自
新実彰平議員	京都	参	維	11	森ゆうこ議員	比例	参	立
石橋林太郎議員	広島	衆	自	12	玉木雄一郎議員	香川	衆	国
高木まり議員	埼玉	参	立	13	上月良祐議員	茨城	参	自
加藤明良議員	茨城	参	自	14	平井卓也議員	香川	衆	自
滝波宏文議員	福井	参	自	15	泉健太議員	京都	衆	中
三ツ林裕己議員	埼玉	衆	自	16	舟山康江議員	山形	参	国
嘉田由紀子議員	比例	参	維	17	山添拓議員	東京	参	共
大島九州男議員	比例	参	れ	18	江原くみ子議員	埼玉	参	国
吉良よし子議員	東京	参	共	19	浅野哲議員	茨城	衆	国



当日、ご本人がごあいさつくださった国会議員さん

写真 上段左から(ご到着・ご挨拶順)

- 原田議員 福島議員 柴山議員 芳賀議員 古賀議員
- ラサール議員 木村議員 高木議員 滝波議員 三ツ林議員
- 嘉田議員 大島議員 吉良議員

父母とともにこれまで築いてきた

議員とのつながりが力を発揮

予想もしなかった総選挙で、衆議院議員の大きく入れ替わりました。加えてこの日は首相指名選挙と重なりました。参議院議員のみの参加になるかと危ぶまれる状況でした。しかし、集会開会前も含め父母をはじめとした全国からの参加者の要請が実を結び、衆議院からの議員参加も実現しました!

「高校授業料無償化」実現を喜び、子ども達の笑顔のために次の課題に解決へ

開会にあたり、全国私学助成をすすめる会 元 共同代表の北澤由美子さんは主催者あいさつに立ち「わたしたちの願いが届き、高校授業料無償化が実現しようとしている。自分の出身県愛知県では、入学金補助を拡充して、学費の無償化が実現すると聞いた。国の拡充が各県の制度の拡充につながっている。一方で、子どもたちを迎える先生方の忙しさが大変になっている。先生が笑顔で子どもと向き合うためにも経常費助成拡充のためにも議員のみなさんのお力添えをお願いしたい。」と、運動が築いた到達点と今後の残された課題を述べ、議員とともに共有しました。つづいて山口直之共同代表は図を使いながら、愛知県、埼玉県独自の制度拡充を報告し、大きな前進を確認し同時に学費負担の自治体間格差の現状と課題について解説しました。



北澤 元共同代表

参加議員発言より(大意)

原田議員「授業料補助のみでなく、入学金や施設設備費の負担があることも理解している」、福島議員「施設設備費等も残っているし、先生方が大変な状況も変えなくてはならないと思っている」、柴山議員「実施させるには、法律の年度内成立が必要で実現にはタイミングが大事」、芳賀議員「どこでも同じ条件で私学教育が受けられるようにすることが政治の役割」、古賀議員「授業料無償化は地方創生にもつながる。若い人が地方で頑張れるように頑張っていく」、ラサール石井議員「財政金融委員となったので財政の角度から教育の無償化に関われるようにしたい」、木村議員「県財源でというのが難しい県もあるので、国の制度拡充に頑張りたい」、高木議員「だれもが希望する高校に通えるようにすることが実現できるよう頑張る」、滝波議員「高校授業料無償化の法案が国会に提出できるよう頑張りたい」、三ツ林議員「財源確保が大切、そのためにも予算成立に向けて頑張る」、嘉田議員「県知事時代、公私間格差、自治体間格差を憂いてきた。子どもの数で違いがあってはいけない」、大島議員「国や自治体は施設設備の整備に責任を持ち、内容は各校独自にしていくべき」、吉良議員「みなさんの頑張りがここまでした。軍事費増額、教育費は先進国最低レベルという政治を変えていくことが大切」

参加者発言(大意)



川畑さん

旭丘高校 生徒会総務 「生徒会として私学助成署名運動にとりくんできた。教育・学校の在り方を考える機会になっている。学んでいく中で『国際人権規約』に出会い、教育の無償化を求めることは権利なんだということを知った。」

埼玉 父母 川畑さん 「高校受験の季節。高校授業料無償化の報をどのような気持ちで聴いているか? 専門学校選択の生徒が増える中、もっと早くに実現していれば経済的不安を少なく進路を選べたろう。」

埼玉 父母 早川さん 「運営費予算が上があればもっと教員が増えるだろう、と話していた。国の制度拡充で、県独自制度分の予算が運営費補助に回った。声を出し続けることが形になるんだ、ということを実感した」



旭丘高校 生徒会総務のお二人

紹介議員の要請を3月末まで取り組もう!

語れば理解し応諾を得られます